

2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月15日

上場会社名 株式会社ニューロマジック 上場取引所 東 福
コード番号 251A URL http://www.neuromagic.com/
代表者 （役職名） 代表取締役社長CEO （氏名） 黒井 基晴
問合せ先責任者 （役職名） 取締役CIO （氏名） 石川 修一 TEL 03 (3248) 1424
中間発行情報提出予定日 2025年11月28日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	569	△3.5	15	—	21	—	24	—
2025年2月期中間期	589	—	△40	—	△46	—	△45	—

（注）包括利益 2026年2月期中間期 28百万円（－％） 2025年2月期中間期 △38百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	29.33	—
2025年2月期中間期	△57.30	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	543	165	30.5
2025年2月期	533	137	25.8

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 165百万円 2025年2月期 137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	0.00	0.00	0.00
2026年2月期	0.00		
2026年2月期（予想）		—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,201	△1.2	15	—	21	—	6	—	7.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年2月期中間期	823,600株	2025年2月期	823,600株
2026年2月期中間期	ー株	2025年2月期	ー株
2026年2月期中間期	823,600株	2025年2月期中間期	799,609株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信 (添付資料) 3ページの「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書.....	5
(中間連結損益計算書)	5
(中間連結包括利益計算書).....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復が続く一方で、継続する物価上昇や、米国の関税政策動向による世界経済への影響等、様々な情勢不安が国内の景気を下押しするリスクが懸念され、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

そのような中でも、当社グループは、創業以来Webインテグレーション市場に身を置き、様々な規模のプロジェクトや、システム開発からコンテンツ制作に至るまで多岐にわたるサービスを統合的に提供してきました。近年では「エクスペリエンスエージェンシー」をスローガンに掲げ、UI/UXやサービスデザイン領域への積極的な投資を行い、市場における競争力を強化し続けています。

このような環境の中、当中間連結会計期間における当社グループのエクスペリエンスデザイン事業は、期初から取り組んだコスト削減策の奏功、および保険解約収入の発生により、連結売上高は569,157千円(前年同期比3.5%減)、営業利益は15,210千円(前年同期は営業損失40,947千円)、経常利益は21,980千円(前年同期は経常損失46,561千円)、親会社株主に帰属する中間純利益は24,157千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失45,813千円)となりました。

なお、当社グループは、エクスペリエンスデザイン事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(ア) 流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ31,329千円増加(6.6%増)し504,911千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加37,129千円があったこと等によるものであります。

(イ) 固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ21,561千円減少(36.0%減)し38,358千円となりました。これは主として、保険積立金の減少19,636千円があったこと等によるものであります。

(ウ) 流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ665千円減少(0.4%減)し185,189千円となりました。これは主として、短期借入金の減少16,660千円があった一方で、受注損失引当金の増加6,737千円があったこと等によるものであります。

(エ) 固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ17,857千円減少(8.5%減)し192,210千円となりました。これは主として、長期借入金の減少20,777千円があったこと等によるものであります。

(オ) 純資産

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、主として親会社株主に帰属する中間純利益の計上24,157千円等により前連結会計年度末に比べ28,290千円増加(20.6%増)し、165,868千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ37,129千円増加し、307,879千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は43,783千円(前年同期は26,553千円の支出)となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益の計上21,980千円、売上債権の増加額16,727千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は28,384千円(前年同期は450千円の収入)となりました。これは保険積立金の解約による収入28,384千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は35,812千円(前年同期は18,987千円の支出)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出18,915千円、短期借入金の返済による支出16,660千円があったこと等によるものであります。

ります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想については、2025年4月11日の「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	270,750	307,879
売掛金	141,704	125,013
仕掛品	23,029	35,943
その他	38,097	36,074
流動資産合計	473,581	504,911
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,583	5,583
工具、器具及び備品	39,616	39,616
リース資産	2,160	2,160
減価償却累計額	△35,878	△39,122
有形固定資産合計	11,480	8,237
投資その他の資産		
保険積立金	19,636	—
繰延税金資産	14,542	17,019
その他	14,260	13,101
投資その他資産合計	48,439	30,120
固定資産合計	59,920	38,358
資産合計	533,501	543,269
負債の部		
流動負債		
営業未払金	36,766	32,697
短期借入金	16,660	—
1年内返済予定の長期借入金	41,013	42,875
未払金	65,940	64,622
未払法人税等	4,352	3,869
受注損失引当金	6,916	13,653
その他	14,207	27,471
流動負債合計	185,855	185,189
固定負債		
長期借入金	155,533	134,756
退職給付に係る負債	53,065	56,223
その他	1,469	1,231
固定負債合計	210,067	192,210
負債合計	395,923	377,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	61,617	61,617
資本剰余金	8,358	8,358
利益剰余金	50,579	74,736
株主資本合計	120,555	144,712
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,022	21,155
その他の包括利益累計額合計	17,022	21,155
純資産合計	137,577	165,868
負債純資産合計	533,501	543,269

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	589,886	569,157
売上原価	492,740	437,424
売上総利益	97,146	131,733
販売費及び一般管理費	138,093	116,522
営業利益又は営業損失(△)	△40,947	15,210
営業外収益		
受取利息	20	227
受取配当金	2	2
保険解約益	—	8,748
為替差益	4	—
還付消費税等	4	—
その他	—	166
営業外収益合計	31	9,143
営業外費用		
支払利息	1,095	1,397
上場関連費用	4,550	—
長期前払費用償却	—	894
その他	—	81
営業外費用合計	5,645	2,374
経常利益又は経常損失(△)	△46,561	21,980
税引等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△46,561	21,980
法人税、住民税及び事業税	413	300
法人税等調整額	△1,161	△2,477
法人税等合計	△747	△2,177
中間純利益又は中間純損失(△)	△45,813	24,157
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△45,813	24,157

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△45,813	24,157
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,894	4,133
その他の包括利益合計	6,894	4,133
中間包括利益	△38,919	28,290
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△38,919	28,290
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自2024年3月1日 至2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自2025年3月1日 至2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△46,561	21,980
減価償却費	4,637	3,243
受取利息及び受取配当金	△22	△229
支払利息	1,095	1,397
保険解約益	—	△8,748
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,357	6,737
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,432	3,157
売上債権の増減額(△は増加)	82,525	16,727
棚卸資産の増減額(△は増加)	25,299	△12,914
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,893	△4,130
未払金の増減額(△は減少)	△24,650	△1,336
その他	△47,269	19,849
小計	△25,048	45,734
利息及び配当金の受取額	22	229
利息の支払額	△1,095	△1,397
法人税等の支払額	△431	△782
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,553	43,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△800	—
定期預金の払戻による収入	7,200	—
有形固定資産の取得による支出	△3,962	—
保険積立金の支払による支出	△1,987	—
保険積立金の解約による収入	—	28,384
投資活動によるキャッシュ・フロー	450	28,384
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△16,660
長期借入金の返済による支出	△14,465	△18,915
非支配株主への払戻による支出	△4,263	—
その他	△259	△237
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,987	△35,812
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,600	773
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△38,490	37,129
現金及び現金同等物の期首残高	290,776	270,750
現金及び現金同等物の中間期末残高	252,286	307,879

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、この会計方針の変更による当中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間および前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表および連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、エクスペリエンスデザイン事業を主体に行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。